

○議長（茅沼隆文）

日程第2、諸般の報告に入ります。新年に当たり、町長より登壇の上、年頭のご挨拶をお願いいたします。

町長。

○町長（府川裕一）

皆さん、改めて明けましておめでとうございます。5日の賀詞交換会、議員の皆さんにも出席をいただき、たくさんの町民の皆様とともに新しい年を表彰式及び賀詞交換会ということで開催をさせていただき、盛況にできました。本当にありがとうございます。

そのときに井上東亜氏より開成町の過去の歴史の中で、広域連携の欠如というのがちょっと指摘をされました。当時の吉田島村と酒田村の連携ができていなかったために、小田急線が開成町の端っこになってしまったと。連携ができていれば、多分真ん中を走っていた可能性もあるのかもしれませんが、それは当時の決断です。

連携の話ですけれども、開成町は、今、杉本県議が、足柄大橋が、来年の3月には開通するだろうという予測を出しておりましたけれども、それにあわせて大井町、開成、南足柄の橋の開通になりますので、この連携については、きちんと考えていきたいと思っておりますし、イベントもできれば広域に今進めていきたいと考えております。

連携においてはもう一つ、足柄上郡の南足柄西部清掃、東部清掃、ごみの処理についての広域連携についても、今、準備を進め、これからきちんと連携を進めていくという準備段階、4月から進めていきたいと思っております。

もう一つ、防災に関して、今年の防災訓練、南足柄と一部広域で防災の連携ができるように、今、準備も進めておりますので、広域連携については開成町としては十分承知をして、きちんと対応していきたいと考えておりますので、ぜひよろしくご理解をお願いしたいと思います。

1年間を振り返って見て、昨年、ここで二つのことを確かお話ししました。防災に力を入れていくということと、総合計画をつくっていくと、この二つです。1年間を振り返って見ると、3月11日に酒匂川があふれた場合の浸水訓練を初めてさせていただきました。4月に危機管理担当課長を置いて、防災専門員の増員もいたしました。9月の防災訓練に間に合うように難聴対策として、電話をかけていただければテレホンサービス、きちんと命に係る大事な情報がとることができるような対策も昨年させていただきました。

そういった意味も含めて、昨年1年間、開成町において、大きな災害に見舞われることなく1年間過ごせたということは、大変うれしく思っております。

総合計画についても、町民の皆さんのご意見を聞きながら、昨年12月、議会の皆さんの承認を得て、総合計画が決定いたしました。

賀詞交換会でもお話ししましたがけれども、明るい未来に向けて、「自然と人が輝くまち開成」を目指す。こういう目標がはっきり決まりました、さらにその中に前期基本計画、もっと詳しく3年の個別計画も、何をいつ、どれだけやるのか。予算も含めて議会の皆さんには、資料としても提供もさせていただきましたので、それに沿って、25年度からきちんと計画的に、確かに今、財政状況厳しいことはありますけれども、先送りすることないように、計画に沿って進めていきたいと、総合計画においては考えておりますので、ぜひ、またたびたび予算審議の中で、その計画について皆さん方のご意見をいただくことになると思いますけれども、慎重な審議をいただいて進めていきたいと考えておりますので、ぜひ、1年間よろしく願いいたします。

特にこの1年、防災については、昨年同様、さらにもっともっと充実はしていきたいと思っています。防災ラジオを含めて、難聴対策だけではなくて、全ての町民の皆さんがきちんと正しい命に係る情報が得られるあらゆる手段はやっていかなければいけないと思っております。一番は安全対策。さらにいけば、平成30年度を目標にしておりますけれども、役場庁舎の建設に向けて、今年度から準備には入っていかなくちゃいけないなど、建設のための検討委員会を含めて、いろいろ含めてやっていくことが多くあります。

人口がふえて、子どももふえていく中で、子育て支援にも力を入れていくためには、ファミリーサポートセンター、さらにひろば型の支援センターの設置のための準備も、今から進めていかなくちゃいけない。やらなくちゃいけないこと、たくさんあります。そういった中で皆さん方のご意見を聞きながらきちんと進めていきたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

以上で今年1年含め、今後の方針、大幅な施策ができましたけれども、皆さん方のいろいろな議論が必要になります。議論の中でできるだけ提案をしていただければ、取り入れる部分において、皆さん方の意見を取り入れながらやっていきたいと思っておりますので、ぜひ、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

はい、ありがとうございました。

次に私より平成25年第1回開成町議会定例会1月会議に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、議員各位におかれましては、それぞれの思いがあると思いますが、議会としては、10月・11月に実施した町内12カ所での議会報告会、意見交換会や、12月議会での第五次総合計画の審議などが特に注目すべき出来事であったと思います。

議会報告会・意見交換会では、180人を超える方にご参加いただき、町民の皆さまの身近な課題などをお聞きすることができました。

また、第五次総合計画の審議では、250回を超える質疑が行われ、二元代表制

の議会として、その役目を十分に果たすことができたと思います。さらに委員会活動では、東日本大震災を受けて、県西部の地震に関する情報収集として、「温泉地学研究所」を視察したことや、放射線問題に関し、「山北の茶業センター」を視察したことなどは、まことに時期を得た委員会活動であったと思います。

我が国は、さきの総選挙の争点であった、脱原発、エネルギー問題、消費税の増税と社会保障、TPPの問題など、私たちの生活に直接影響する大きな課題を抱えて新年を迎えました。また、新政権では、近隣諸国との外交問題など、喫緊の課題が山積している中で経済対策を最優先課題として大規模な補正予算でスタートすることになりました。

開成町においても、これら国の新しい施策の内容を速やかに把握し、対応策を講じていく必要があります。

一方で、国民と直接向き合っている地方自治体においては、昨年9月に交付された地方自治法の一部改正でも明らかのように、議会の役割がますます大きくなっております。

私たちは地方議会の重要性を再度認識し、地方議会として何ができるのかを真剣に考え、それにふさわしい行動を示していきたいと考えています。地方から国を変えていくくらいの気概を持って、本年の議会活動を続けていきたいと思ひます。

先ほど申し上げましたとおり、昨年は町内12カ所で議会報告会・意見交換会を行い、町民に対する説明責任を果たすことが出来たと考えていますが、同時に町民からの注目度、期待度がますます高まっていることも感じる事ができました。私たちは、私たちの活動について、町民の方に更なる情報提供を行い、説明責任を果たしていかなければなりません。今後も町民と一体となった、より開かれた議会としての運営を心がけていきたいと思ひます。

以上、議会が果たすべき役割について述べましたが、地方議会の役割が大きくなっていることに鑑み、議会としての役割をしっかりと果たすために、開かれた議会運営の一環である議会報告会、意見交換会のあり方、また、議会広報のあり方等については議員各位のご意見等をお聞きしながら、さらに進化させた取り組みをし、町民の方々に対する説明責任を果たしていきたいと考えておりますので、改めて各位のご協力をお願いいたします。

私たちの活動は、とりもなおさず、全て町民のためということが原点であります。議員各位におかれては、町民からの負託にこたえるべく、積極的なご活躍と議会運営に対するご協力をお願いするとともに、町当局が常に効率的な行政運営を推進していただいていることに敬意を表し、本年も町民が安心して生活できる行政運営を推進していただけますようお願いして、私の挨拶といたします。

以上で諸般の報告を終了いたします。